

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問ゆにこ			
○保護者評価実施期間	2024年7月1日 ～ 2025年1月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	3名
○従業者評価実施期間	2024年6月1日 ～ 2025年1月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○訪問先施設評価実施期間	2024年7月1日 ～ 2025年1月15日			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	4名	(回答数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービスで自事業所を利用している方が多い	放課後の様子と学校の様子を比べながら支援の方向性を考えるようにしている	保護者・学校との連携を強化し、より良い支援に繋げていく
2	学校の管理職の方にご理解いただいている	学校担任への挨拶より先に、管理職先生方とお話させて頂く時間を必須としている 管理職の方のご理解を得ずに進めることは、出来ないと考えている	新年度になると管理職の先生も担任の先生も変わる可能性がある あるので、年度ごとにご理解を得られるよう努める
3	訪問支援員の質向上	心理職・児童指導員・保育士など、様々な専門分野からの訪問支援員を配属し、色んな視点で支援を考えられるようにしている	訪問支援員間と児発管との連携、引継ぎの強化を行う

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校担任のニーズに添えているかどうか分からない	初年度であったため、お互いにどこまで可能なかなど不明点があった	担任の先生のニーズをしっかりとヒヤリングし、支援に活かしていく
2	新規の利用者様へのフォロー不足	初年度であったため、段取りなど手探りな部分があり、フォローが遅かったように感じる	訪問支援員と児発管での役割分担を明確にしてい
3	事前打ち合わせが不足していた	訪問支援員が一人であったので、あまり打ち合わせをしていなかった	児発管と複数の訪問支援員で計画に沿った支援が出来るよう打ち合わせを行う